

経営のヒント191 天職を見つける

天職を見つける

心理学者のマズローは、「どんな人にも起こり得る最高の運命、最高にすばらしい幸運は、情熱的にやり続けたいと思うことをして報酬がもらえることだ」と言っています。

ただ、どういった仕事がこの「最高にすばらしい幸福」をもたらすのかを見出すのは、簡単なことではありません。ここでは、人間と仕事の間を検証する研究を見てみましょう。

心理学者のエイミーと中間の研究者たちによると

人は仕事を「労働」「キャリア」「天職」の3つのうちの1つとして捉えているといいます。

「労働」は基本的に退屈なものであり、個人の充足感より金銭的な報酬に関心がおかれています。

朝、仕事に行くのは「そうしたいから」といっても、「そうしなければいけないから」です。

仕事を「労働」と捉えている人たちは、仕事に対して給料以外には、何の期待も抱いていません。

そして金曜日の夜や休みを心待ちにしています。

それに対して仕事を「キャリア」と捉えている人たちは、お金や昇進といった外的要因や、権力や特権を獲得することが働くための主な動機となっています。

彼らは出世して職業上の階層を上がっていくことを望んでいます。

助教授から終身在任権を持つ教授になること、教師から校長になること、副社長から社長になること、編集長のアシスタントから編集長になることを望んでいるのです。

働くことを「天職」と感じている人々にとっては、働くこと自体が目的です。

給料や昇進もたしかに重要ですが、**これらの人たちは働きたいから働いている**のです。

自己の成長や向上などの内的な動機付けから仕事をし、精神的にたいへん充実しています。

彼らの目標は自分の欲求に深く根ざしています。

やっていることに情熱を持ち、仕事から大きな充足感を得ています。

仕事は退屈なことではなく、特権だと考えているのです。

あなたは仕事を「労働」「キャリア」または「天職」のうちのどれと捉えていますか？

過去の仕事についても同じことを考えてみてください。

MPS質問に答える

MEANING (意義) 私にとって意義あることは何だろう？ 何が私に目的意識を与えてくれるだろう？

PLEASURE (楽しみ) 私にとって楽しいことは何だろう？ どういうことをしていると楽しいのだろうか？

STRENGTH (強み) 私の強みは何だろう？ 何が得意だろう？

これらの質問に答えることによって、天職とは何かというマクロな視点で人生を捉えることができると同時に、日々の生活でどうしたいかというマクロな視点でも人生の道のりを考えることができます。

「ハーバードの人生を変える授業」タル・ベン・ハヤハー 大和書房より参照

<経営のヒント>

幸せという究極の通貨」を稼ぐには？

毎週できることで、あなたに最高の幸せと満足感を与えてくれる活動を5つ選んでリストを作ってみましょう。そうした活動をするために、いまきちんと時間を使っているでしょうか？

又、こうした活動をするのに週当たりいくらお金がかかるかを見積もって下さい。

あなたにとって価値がある活動の多くには、実はお金はかからず、時間以外のものは必要ないということに気がつくかもしれません。

「お金に価値があるのは、私たちがお金が過大評価される世界に住んでいるからである」H・L・メンケン